

昭和五十九年四月二十三日

## ホンダ シティシリーズの R・E・PRO タイプを さらに充実させ発売

本田技研工業㈱は、発売以来ユニークなトルボイデザインで好評のホンダ シティシリーズの R・E・PRO タイプをマイナーチェンジし、内外装をより充実、さらに、国産小型車でトップクラスの低燃費（二十二・五<sup>km/l</sup>）モード燃料消費率・運輸省審査値）を実現させた EII タイプ（\* 日本初の FE インジェクター付）を加え四月二十四日より発売する。

\* FE（フューエル・エコノミー）インジェクター…経済運転に最適なギアとアクセル開度を選択して走行しているか否かを指示する装置

今回のシティシリーズのマイナーチェンジは、R・E・PRO タイプのフロントグリル廻りや、シートなど一部変更を加え内外装をさらに充実させたものである。特に、Rタイプハイルフにはルーフ空間を利用した Hi-Fi サウンドシステム（マンハッタンサウンド）仕様車を設定している。

主な内容は

### ● 外装

- ・すぐれた換気効果のエアアウトレット（R・Eタイプ）。
- ・新デザインのフロントグリル。
- ・幅広のサイドプロテクター（R・Eタイプ）。
- ・新しいデザインのシートパターン。
- ・Rタイプハイルフに幅広い用途に使いこなせるフルフラットシートを初めて採用など。

### ● 内装

特に、この R タイプハイルフには、リアルーフ部に大型スピーカーボックスをもち、マイクミキシングもついたトランスミッター付 Hi-Fi サウンドシステム（マンハッタンサウンド）を装備。野外の車外モニターや走行中も、パワフルな高出力アンプ（二〇W×二〇W）とあいまって生き生きしたサウンドが楽しめる、さらに、マイクミキシングのついたトランスミッターを併用すれば、一層マルチユースな遊び方もできるものとしている。



シティ R ハイルフ（マンハッタンサウンド）

● 販売計画 <月間・国内>

シティシリーズ合計 6,000台

● 標準現金価格

(単位:千円)

タイプ \ 地区	東京	名古屋	大阪	福岡	仙台	札幌
Rタイプ・ハイルーフ マンハッタンサウンド	968	968	968	988	988	1,007
Rタイプ・ハイルーフ 電動サンルーフ	900	900	900	920	920	939
R	795	795	795	815	815	834
Rサンルーフ	835	<del>835</del> 839	<del>835</del> 839	<del>855</del> 859	<del>855</del> 859	<del>876</del> 878
E	810	810	810	830	830	849
E II	785	785	785	805	805	824
PRO T	598	598	598	618	624	643
PRO F	668	668	668	688	694	713

- ※ Rタイプ(R、Rサンルーフ、Rハイルーフマンハッタンサウンド、Rハイルーフ電動サンルーフ)はドアミラー装着価格。フェンダーミラー仕様は△5千円。
- ※ ロックアップ機構付ホンダマチックは4万円高で以下のタイプに設定。(R、Rサンルーフ、Rハイルーフマンハッタンサウンド、Rハイルーフ電動サンルーフ、Eは標準装備)
- ※ ボディソニック仕様車は135千円高で以下のタイプに設定。(R)
- ※ 仙台、札幌地区価格には、5千円の寒冷地仕様分を含む。
- ※ 寒冷地仕様のPRO T・Fは6千円のリヤウインド熱線含む。

また今回、一段と燃費向上をはかったEIIタイプも追加。EII専用に開発されたフリクションの低い二本ピストンリング、キャブレター仕様車で日本初の二ステージインテークマニホールドなど数々の新機構により、国産小型車トップクラスの低燃費を実現。さらにこのEIIタイプには、日本初のFEインジェクターをスピードメーター部に設置。エンジン回転、負荷、速度をマイクロコンピュータが総合的にチェックし、ドライバールに、より経済的な走行を指示するシステムとしている。

これにより、ホンダシティシリーズはユーザーの多様化する使い勝手や好みに、さらに幅広く応えられるものとなった。

主 要 諸 元 表

タイプ 車名・型式		シティ				シティプロ		
		E	EII	R		T	F	
トランスミッション		ホンダ・E-AA				ホンダ・L-VF		
4速マニュアル			●	●		●		
5速マニュアル						●		
ロックアップ機構式ホンダマチック		●			●			
寸法・重量	全 長 (m)	3.380				3.380		
	全 幅 (m)	1.570				1.570		
	全 高 (m) < >内 ハイールーフ仕様車	1.470		1.470<1.570>		1.470		
	ホイールベース (m)	2.220				2.220		
	トレッド (m)	前	1.370				1.370	
		後	1.370				1.370	
	最低地上高 (m)	0.160				0.160		
	車 両 重 量 (kg)	( )内 サンルーフ仕様車 < >内 ハイールーフ仕様車	680	670	670(680) <680(695)>	685(695) <695(710)>	640	655
	乗 車 定 員 (名)	( )内 最大積載量 (kg)	5				2(300)	2(300)5(0)
	室内寸法 (m) (荷室寸法) < >内ハイールーフ仕様車 ( )内サンルーフ仕様車	長 さ	1.625		1.625<1.615>		0.955	0.970
		幅	1.320				1.270	
高 さ		1.175		1.175<1.245(1.205)>		0.960		
エ ン ジ ン	エンジン型式	ER				ER		
	エンジンタイプ	CVCC・水冷直列4気筒横置OHC (無鉛ガソリン使用)				CVCC・水冷直列4気筒横置OHC (無鉛ガソリン使用)		
	燃 焼 室 形 式	副燃焼室付ウェッジ型				副燃焼室付ウェッジ型		
	弁 機 構	1頭上カム軸3バルブベルト駆動				1頭上カム軸3バルブベルト駆動		
	総 排 気 量 (cm <sup>3</sup> )	1.231				1.231		
	内 径 × 行 程 (mm)	66.0×90.0				66.0×90.0		
	圧 縮 比	10.0				9.0		
	燃料供給装置形式	キャブレター式				キャブレター式		
	燃料タンク容量 (ℓ)	41				41		
	潤 滑 方 式	圧送式				圧送式		
	潤 滑 油 容 量 (ℓ)	4				4		
点 火 方 式	ポイントレス・トランジスタ式				ポイント・バッテリー式			
性 能	最 高 出 力 (PS/rpm)	63/5,000		67/5,500	63/5,000	61/5,000		
	最 大 ト ル ク (kg-m/rpm)	10.0/3,000		10.0/3,500	10.0/3,000	9.8/3,000		
	登 坂 能 力 (tanθ)	0.46	0.42	0.46		0.37		
	燃 費 (km/ℓ)	10モード燃料消費率 (運輸省審査値)	15.0	22.5	18.0	14.0(13.4)*	—	
		60km/h時燃料消費率 (運輸省届出値)	27.5	35.0	26.5	25.5	25.0	
	最 小 回 転 半 径 (m)	4.5 (車体4.9)				4.5 (車体4.9)		
制 動 停 止 距 離 (m) 初速 50 km/h 時	1.40				1.45			
動 力 伝 達 装 置	クラッチ形式	(マニュアル)乾式単板ダイヤフラム (ホンダマチック)トルクコンバータ3要素1段2相形				乾式単板ダイヤフラム		
	変速機操作方式	フロアチェンジ式				フロアチェンジ式		
	変 速 比	1 速	3.272		2.916		3.181	
		2 速	L 1.782	1.666	1.764	L 1.782	1.823	
		3 速	★ 1.133	1.041	1.181	★ 1.206	1.181	
		4 速	OD 0.777	0.777	0.846	OD 0.828	0.846	
		5 速		0.655	0.714		—	
後 退		1.954	2.916	2.916	1.954	2.916		
減 速 比	3.588	3.578	4.428	3.588	3.875			
そ の 他	カジ取り形式	ラック&ピニオン式				ラック&ピニオン式		
	タ イ ヤ	145SR12	P165/70R12	165/70SR12		145R12-6PR-LT		
	主ブレーキの種類・形式	前	油圧真空倍力装置付ディスク				油圧ディスク	
		後	油圧真空倍力装置付リーディングトレーリング(PCV付)				油圧リーディングトレーリング	
懸 架 方 式	前/後	マクファーソン・ストラット方式独立懸架/ マクファーソン・ストラット方式独立懸架 (コイル分離式)				マクファーソン・ストラット方式独立懸架/ マクファーソン・ストラット方式独立懸架		

●燃料消費率は、定められた試験条件のもとでの数値です。実際の走行時には、この条件(気象、道路、車両、運転、整備などの状況)が異なってきますので、それに応じて燃料消費率が異なります。  
●道路運送車両法による新型車届出書数値 ※=ハイールーフ電動サンルーフ仕様車およびマンハッタン・サウンド仕様車